

# 放課後子ども教室

# キッズくらぶの夏休み



放課後子ども教室「キッズくらぶ」は、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むために、安全・安心な子どもたちの居場所（活動拠点）として多くの事業を行って来ます。その中で、毎年子どもたちの夏休みに合わせ、夏の思い出と体験する機会を提供するため様々な企画を行っています。今回は町で行われている「キッズくらぶ」の夏休み事業について活動の様子を紹介していきます。

## 夏休み体験教室

今年の夏休みは、社会体験教室で「座禅体験ときもだし」、夏休み勉強会、自然体験教室で「川遊び」が行われました。各回約30人の小学生たちが参加し、座禅体験や川

遊びなど、普段は体験できないことに夢中で取り組んでいました。

夏休み勉強会は、去年から金ケ崎高等学校の協力により、高校生がスタッフとして子どもたちが持ち寄った夏休みの宿題等の指導を行います。高校生は、学校での募集に、将来教育関係の仕事を目指す人など13人が自ら進んでボランティアとして活動し、子どもたちとコミュニケーションを図りながら、勉強や体を動かした遊びなど楽しみながら指導していました。

自然体験教室「川遊び」は、永沢川で川遊びをすることにも水生生物調査を合わせて行いました。川で遊ぶのは初めてという子どもたちも多く、魚が泳ぐきれいな川で泳いだり、サワガニなどの生物を探

## interview

キッズくらぶを支えるスタッフの皆さんにお話を聞きました。



金ケ崎高校2年  
栗野 伊織さん

去年も勉強会に参加し、子どもたちに教えることで自分の力になっていたので今年も参加しました。小学生に順序だてて説明して、分かりやすく教えるのは難しかったけど、分かってくれて一緒に喜びることができたのはとても嬉しかったです。将来は、幼稚園または小学校の先生を目指しているので、このような機会に参加できて良かったです。



キッズくらぶ  
コーディネーター  
伊藤 典子さん

今回座禅体験と勉強会に参加し、子どもたちのサポートをしました。キッズくらぶは、各学年での交流が生まれ、高学年は引っ張る力、低学年はそれを見てお兄さんお姉さんに近づけるようにと頑張る力が養われ、子どもたちが成長していくと感じています。15年ほど前から、スタッフとして関わっていますが、キッズくらぶは子どもたちが自立していくことができる場だと思います。

「キッズくらぶ」の夏休み。どの事業でも子どもたちの笑顔が溢れ、体験を通じて成長した子どもたちの姿がそこにはありました。少子化や核家族化の進行、高度情報化などにより、子どもを取り巻く環境は変化しています。そこで、子どもたちが放課後や週末等に、地域の大人や異学年との関わりの中で社会性や規範意識などを身に付け、心豊かで健やかに育まれる環境作りが必要となってきました。キッズくらぶは、夏休み体験教室以外にも、季節ごとの事業なども行っていますので、子どもたちの成長の場としてご利用ください。

### 写真説明

- 1 あみと水中眼鏡で水生生物を探す様子
- 2 4 子どもたちに勉強を教える高校生
- 3 捕まえた魚を嬉しそうに見せる様子
- 5 きもだめし前にお焚き上げを行う様子
- 6 川遊び前に楽しみで笑顔になる子どもたち

## 放課後子ども教室「キッズくらぶ」について

### ■主な居場所

中央生涯教育センター児童室および多目的ホール（主に金ケ崎小学校児童対象）、各小学校（各小学校児童対象）

### ■主な開催時間

▶中央生涯教育センター 月3回木曜日午後3時～午後5時（冬期間午後3時～午後4時30分）

▶各小学校 月1～2回木曜日 午後3時～午後4時（冬期間も同じ）

### ■対象者・参加費

小学生および中学生、参加費は無料（材料費が必要な場合は実費負担）

### ■申し込み

開催チラシを確認し、必ず参加申し込みをしてください。※詳しい日時・場所・内容については、毎月町内小学校等に配布している「開催チラシ」をご覧ください。